

製品名: RB1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81290**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	106.2kDa

抗原情報

遺伝子名	RB1
別名	RB; pRb; OSRC; pp110; p105-Rb
遺伝子 ID	5925.0
SwissProt ID	P06400
免疫原	大腸菌で発現したヒト RB1 (AA: 745-928) の精製された組み換え断片。

背景

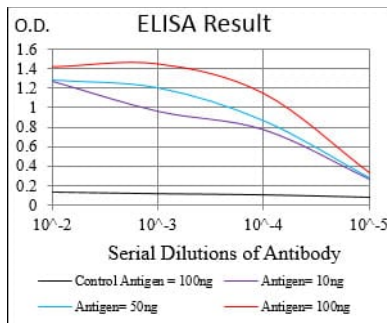
この遺伝子によってコードされるタンパク質は細胞周期の負の調節因子であり、初めて発見された腫瘍抑制遺伝子です。このタンパク質はまた、恒常性ヘテロクロマチンを安定化させ、クロマチン全体の構造を維持します。活性型で低リン酸化状態のこのタンパク

質は、転写因子 E2F1 と結合します。この遺伝子の欠陥は、小児がんである網膜芽細胞腫（RB）、膀胱がん、および骨肉腫の原因となります。

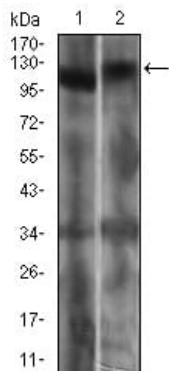
研究分野

-

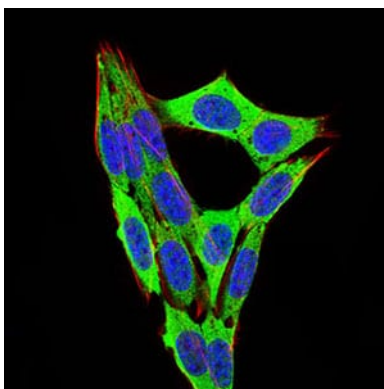
画像データ



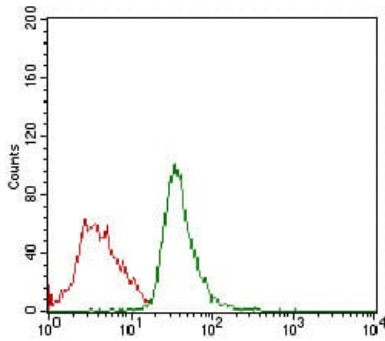
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



Jurkat (1) および A431 (2) 細胞溶解物に対する RB1 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



RB1 マウス mAb (緑) を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



RB1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。